

ごあいさつ

2022年も残すところ約1か月となりました。今年はどうな年だったでしょうか。1年を振り返りながら、来年やってみたいこと、頑張りたいことなど新たな目標を立てるのにも良い機会です。今回は、今年資格を取得した方へのインタビューと、11月に開催されたIMS栄養学会についてご紹介します。ぜひ、今後の参考にしてみてください！



資格取得者へインタビュー！

栄養経営士



5年目：Mさん

①この資格を取得しようと思った理由は何ですか？

マネジメントに興味があり、また先輩管理栄養士が取得していたのでお話を伺い、勉強や講習内容が面白そうだなと思ったことがきっかけです。

②資格取得のために、頑張ったことがあれば教えてください！

テキストを購入してよく読み、重要点や自施設で取りくみたい・取り組めそうな点を繋げて考え、覚えました。全6冊のテキストだったので、取り組む時間作りを頑張りました！

③今後この資格を活かしてやってみたいことはありますか？

給食管理・栄養管理の他にも、コミュニケーション方法や人材管理についても学ぶことができたので、後輩職員の教育や今後のキャリアアップに繋げていきたいです。

腎臓病療養指導士

①この資格を取得しようと思った理由は何ですか？

外来透析室の担当になったのがきっかけです。CKDについて詳しく学び、患者さんに寄り添える管理栄養士になりたいと思いました。

②資格取得のために、頑張ったことがあれば教えてください！

薬については詳しく学ぶ機会がなかったので、種類が多く理解して覚えるというのが大変でした。専門テキストには薬の作用だけでなく、患者さんがきちんとお薬を飲むような服薬指導など他職種の日線も学べて楽しかったです。

③今後この資格を活かしてやってみたいことはありますか？

この資格が生かせるのは透析導入前の患者さんです。腎臓内科医師と連携し、外来で通院している保存期CKD患者さんの指導数を増やしていきたいです。



7年目：Nさん

栄養部門よりお知らせ

第6回IMS栄養学会

2022年11月19日（土）IMS栄養学会が開催されました！

IMS栄養学会とは、イムスグループ栄養部門内の各病院・施設での取り組み報告や情報共有の場です。今回もたくさんの応募の中から、13演題が選ばれました。今年度は昨年度から引き続き、新型コロナウイルスの感染対策のためWeb上での開催となりましたが、たくさんの質問が飛び交い、意義深い学会となりました。



学会テーマ

みんなを笑顔に～未来を切り拓く挑戦～

最優秀演題賞受賞者の声

経口栄養補助食品の適正利用に向けたチェックリスト・パス導入の効果 ～栄養管理における視点の標準化を目指して～

◆要約

患者様の嚥食不良時に経口栄養補助食品を使用することがあるが使用についての明確な基準がないため、適正利用できるような、チェックリストやパスを作成した結果、栄養管理における視点の標準化や経費削減に繋げることができた。



◆受賞おめでとうございます！まずは感想を教えてください。

ありがとうございます。先輩方の代から続けている取り組みを発表することができ、それを評価していただけてとても嬉しいです。

◆この研究で難しかった点がありますか？

食事提案や多職種への相談の仕方を経験年数の低い職員に伝えることが難しいと感じました。口頭周知で一時的に補助食品使用量は改善しましたが、継続させることが難しかったため、チェックリストやパスの作成をしました。作成時には他職種の意見を踏まえて作成したことで、院内周知に繋がれたことが大きな結果になったと感じています。発表では紹介したツールの概要や使用方法を初めて見る方に分かるよう説明するのが難しく、先輩方にアドバイスをもらいながら修正しました。



◆今後やってみたいこと・目指したいことはありますか？

嚥食不良チェックリスト・パスを新人教育のツールとして運用してみたいです。早い段階から視野を広く持って適切な栄養管理ができるように、助けになればと思います。自分自身もツールを使いながら栄養管理の力を強化していきたいです。